

CLM実践報告

CLMとは？

- 「保健・福祉・教育」の各分野の担当が連携し、集団の中で児童に対する**個別支援計画**を立てるためのツールです。
- 「チェック（C）・リスト（L）・in三重（M）」の頭文字から「CLM」と名前がついています。

中村 みゆき先生

- NPO法人ライフ・ステージ・サポートみえ 副理事長
- 前 三重県立子ども心身発達医療センターあすなろ学園（児童精神科病院）副参事 兼 子どもの発達総合支援室長
- 平成30年改訂 保育所保育指針 解説書作成にも関わる。

保育指針の中に「CLMと個別の指導計画」の概念

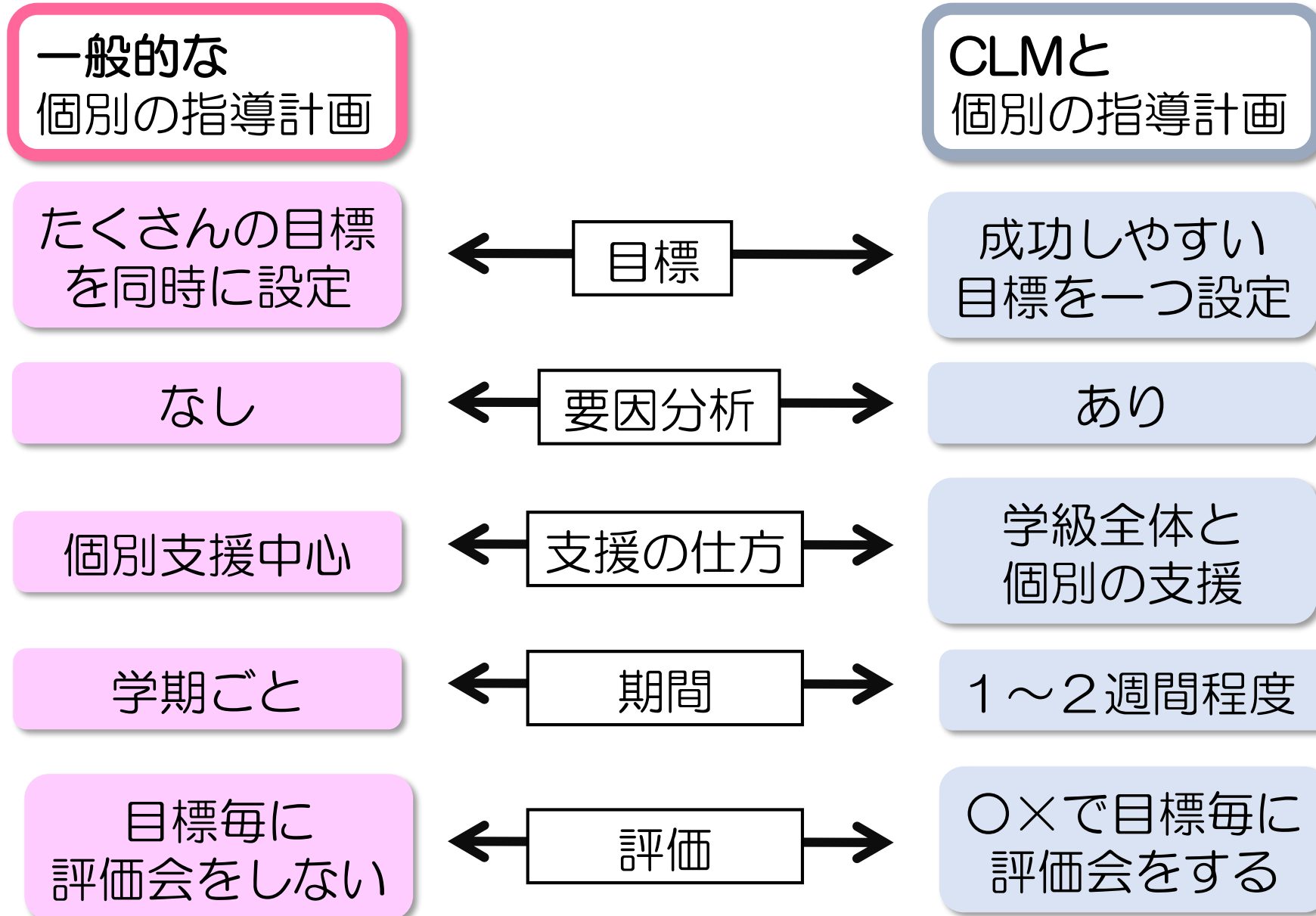
- 特別な配慮を必要とする子どもの個別の指導計画を作成する際には、日常の様子を踏まえて、その子どもにとって課題となっていることが生じやすい場面や状況、その理由などを適切に分析する。
- その上で、場面に適した行動などの具体的な目標を、その子どもの特性や能力に応じて、1週間から2週間程度を目安に少しずつ達成していけるよう細やかに設定し、そのための援助の内容を計画に盛り込む。
- 障害や発達上の課題のある子どもが他の子どもと共に成功する体験を重ね、子ども同士が落ち着いた雰囲気の中で育ち合えるようにするための工夫が必要である。

CLM

- ①観察し、項目に合わせてチェックする。
※3歳12項目 4、5歳16項目
- ②課題に合わせた指導計画を2週間実施。
- ③振り返りをする。

多職種が参加する

一般的な指導計画と「CLMと個別の指導計画」のちがい



	支 援	すがた	時間
<div>支援前</div> <div>↓</div>	①保育士が一人つく ②場所の確保 ③気持ちの切りかえ ④着替への直接的な支援 ⑤終わったら成果を認める	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えに対し意欲的になれず、保育士に関わってもらいながら着替えを行う。 ・他児と生活のタイミングがずれてしまう。 	20分以上 着替えのみ
<div>2週間後</div> <div>↓</div>	①時間を明確にする ②場所の確保 ③見守り ④声掛け ⑤終わったら成果を認める	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の力で着替えを行っている。 ・他児と生活のタイミングがずれてしまう。 	20分程度 着替えのみ
<div>4週間後</div>	①時間を明確にする ②見守り ③終わったら成果を認める	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら意欲的に着替える。 ・他児と同じ場所で着替えている。 ・他児と生活のタイミングがあう。 	10分程度 トイレ・手洗い・着替え含め